

科目名		経済学特殊講義Ⅰ（ミクロ経済学）	
担当教員	今井 久	科目区分	選択必修科目
開講区分	前期	単位数	2単位
曜日時限	月曜・1時限	開講年次	1年
到達目標	ミクロ経済学の基礎理論を体系的に理解する。		
授業概要	<p>経済学とは、この世に存在する「限りある資源」及び、それらから創造された価値を、いかに効率的に分配していくかを研究する学問である。よって、社会全般の経済活動が研究の対象になり、その対象によって「ミクロ経済学」と「マクロ経済学」とに大きく分けることができる。経済学特殊講義Ⅰでは、ミクロ経済学を学んでいく。</p> <p>ミクロ経済学の問いは、通常、「最適化問題」と「均衡問題」とに大きく分けることができる。よって、先ず、個別な経済主体の最適化行動と、一般均衡論的な需要供給の関係を学んでいく。その上で、市場の一般均衡とそれを通じた生産、分配、そして資源配分の決定メカニズム、さらに資源の最適配分を阻害する要因としての市場の失敗、政府の失敗等を理解する。ゲーム理論では、互いに影響をおよぼしあう状況下において、うまく自分の目的を達成するためには、相手がどう出てくるかを考えながらこちらの戦略を立てていく必要性を学んでいく。このような問題は単純ではないが、この授業ではゲーム理論の考え方を、経済現象、国内政治、国際政治等への応用例を通して理解する。</p>		
授業計画			
回数	内容		
第1回	オリエンテーション		
第2回	消費の決定		
第3回	需要の価格弾力性		
第4回	労働供給と貯蓄		
第5回	資産の運用		
第6回	企業と費用		
第7回	生産の決定		
第8回	競争均衡		
第9回	独占と不完全競争		
第10回	寡占		
第11回	非協力ゲームの基本概念		
第12回	ゲーム理論の成果		
第13回	ゲーム理論の諸問題		
第14回	限定合理性と回顧性		
第15回	まとめ		
準備学習等 （課題・予習・復習・調査等）	毎回、講義の復習、または次回講義の予習に関する課題を出すので、その課題を次回の講義までにやってくることにする。		
評価方法・基準 ・講評の方法	定期試験（レポート）（50%）、複数回の小レポート（50%）で評価する。 各自のレポートの講評については、メール等によって行うことを基本とするが、希望者には研究室で直接説明する。		
テキスト・参考書	ジョセフ・E・ステグリッツ著『ミクロ経済学（第3版）』東洋経済新報社、2006年 伊藤元重著『ミクロ経済学（第2版）』日本評論社、2003年 デビッド・クレプス著『ゲーム理論と経済学』東洋経済新報社、2002年		
前年度の授業を ふまえた今年度 の授業方針			
学生への メッセージ			
授業に参考と なるサイト			

関連する画像	
その他・備考	